

# 地の塩 世の光 子供の家幼稚園(園報)

No.8 2019年9月30日(月)発行

学校法人(認定こども園)子供の家学園

子供の家幼稚園

〒889-2535 日南市鰯肥3丁目2-20(TEL)25-0164

## 2019年度 -10月- (園だより)

2019年度主題 ことばに満たされて～ひびきあう～

10月主題 たのしむ

10月の願い

神さまからいただいたいる賜物を活かし合う

遊びの中で工夫して創り出すことの楽しさを知る

遊びに熱中し、くりかえし取り組む中で、思いを伝え合う経験をする

音楽・ダンス・造形・ことば等で表出することや表現することを喜ぶ

さんびか うれしい あきの

聖句 わたしはよいひつじかいである (ヨハネ10:11)

### 「良き羊飼い」

うんどうあそび会直前となり、熱心に跳び箱やのぼり棒、綱縄跳びの練習に取り組む子どもたちの姿を多く見かける様になりました。10月14日の運動あそび会で、子どもたちは日々の幼稚園生活の中で培った力を保護者の皆様の前で披露します。子どもたちは今持つ力を精一杯用いて、頑張ります。どうぞ、どの子に対しても、大きなご声援を頂けますよう宜しくお願い致します。

今月の聖書の箇所はヨハネによる福音書10節11章「わたしは良き羊飼いである」というイエスの言葉です。羊は最も弱い動物と言われ、羊飼いがいなければ彼らはとうの昔に滅んでいたと動物学者は語ります。彼らは非常に近視であり、導き手がいなければ直ぐに迷ってしまいます。また、体には外敵から身を守る鋭い爪や牙、角などを持たせんから、彼らを守る存在がなければ彼らは食べられてしまいます。彼らは古代から、優しく逞しい羊飼いに守られてきました。

私たちにとって羊を見分ける事は非常に難しい事です。どの羊も同じように見えるからです。しかし、羊飼いは自らが飼育している一匹一匹の羊を見分ける事が出来るそうです。それだけ羊飼いは羊一匹一匹を心から愛し、守り続けてきました。

今月の聖書の中で、イエスはご自分の事を「良き羊飼い」だと語っています。つまり羊一匹一匹を見分け、愛を持って守り続ける羊飼いの様に、イエスは私たち一人一人を心から愛し、守り、良き方向へと導いて下さると語るのであります。

私たちは、このイエスの愛をこの園において表していきたいと思います。神様から愛された尊い子どもたち一人一人を心から大切にする保育を行っていきたいと思います。また自分は、かけがいの無い大切な存在である事を子どもたちに理解してもらえるように励んでいきたいと思います。

子供の家幼稚園 園長 葛井義顯